

# 牧草園藝



## サイレージ用トウモロコシの後作物

# 極早生えんばく・ハヤテ

### ☑ ハヤテは晩夏播きでイタリアンより多収

サイレージ用トウモロコシの面積が急増し、新しい作付け体系はトウモロコシと組み合わせる作物は何か、にしばられてきました。

ハヤテは8月下旬（関東）から9月上旬（西南暖地）に播種し、10月に収穫して12月に糊熟期に達する極早生品種で、従来のエンバク品種と明らかに異なる型の新品種です。（詳細次号参照）

表1 晩夏播きにおける  
ハヤテとイタリアンライの年内収量比較

	播種期		収穫期		10a当たり収量		
	関東8月下旬 暖地9月上旬		12月	生草	乾物	TDN	
イタリアン ライグラス	○	2t 2t × ×	×	4t	0.5t	0.4t	
えんばく <ハヤテ>	○	×	×	4t	0.8t	0.5t	

初期生育が早く、茎立ちするため乾物率、TDN含有率が高く、10a当たり乾物収量は1ト近い生産に達します。

### ☑ ハヤテはサイレージ原料にも好適

ハヤテは早く出穂するので、糖分含量が高まり乾物中の糖分含有率は10%を越え、サイレージ原料として好適です。また糊熟期に登熟すれば水分含有率は約75%となり、サイロ詰めして排汁は出ず、良質サイレージができます。



「ハヤテ」は生育が早く、出穂が早い極早生品種で、サイレージ、青刈に広く利用されます。

表2 ハヤテの収量調査例

地	域	播種期		草丈 cm	熟期	収量(kg/10a)		乾物率 %
		月日	月日			生草	乾物	
茨城県那珂		9.10	12.13	112	出穂期	4,110	-	-
〃	真壁	9.15	12.7	113	出穂始	4,300	-	-
千葉県千葉市		8.25	12.17	106	糊熟初	3,675	956	26

また出穂期でいどのものは青刈利用したり、冬季に梱包乾草に供されたり広範囲に用いられます。

### ☑ ハヤテの播種を適期に!!

播種期	関東地方……………	8月下旬
	西南暖地……………	9月上旬
播種量	ハヤテ単播の場合	
	条播……………	8kg
	散播(バラ播き)…	10kg
	ハヤテとイタリアン混播の場合	
	ハヤテ……………	8kg
	イタリアン……………	3～4kg